

## 精神科領域における漢方治療

水上 勝義 先生

筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授

健康社会学・ストレスマネジメント科学専攻

平成25年5月7日（火）

18：30～20：30

筑波大学総合研究棟D 公開講義室(1F)

精神医学で扱う疾患には心身両面の不調をきたすものが多い。また検査結果に異常が現れない訴えも症状ととらえ治療の対象とする。これらの点は漢方医学との共通点といえる。このため精神科診療では漢方薬が重要な治療選択肢の一つとなる。心身症、身体表現性障害、更年期障害の精神症状など心身の関連がとくに強い場合、向精神薬の使用が困難な高齢者や癌患者などの精神症状、認知症の行動・心理症状などはよい適応である。精神科医は漢方に対して理解を一層深めることが求められる。また身体科医も漢方薬を活用することで、精神症状にある程度対応が可能となることから、精神科領域で用いられる漢方薬を理解することは重要といえよう。

今回の勉強会では、筑波大学人間科学総合研究科の水上勝義先生に「精神科領域における漢方治療」の演題で、お話していただく予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、講演場所は筑波大学総合研究棟Dとなっております。防犯の関係上19：00以降正面入口がロックされ入館できなくなります。19：00以降はスタッフができるだけ対応をいたしますが、19：00までにお越し下さるようお願いいたします。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。またフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（高齢者医学）となっております。

柳 久 子

TEL&FAX : 029-853-3496